

セネガル国 非感染性疾患対策強化プロジェクト

通称：Aaru-ci MNT（アーロウチ・エム・エヌ・ティ）

ニュースレター第4号

2025年7月発行

学校保健を通じたNCDsリスクファクター啓発研修： NCDs予防のための重要な一歩

世界保健機関（WHO, 2022）によると、非感染性疾患（NCDs）は世界の死因の75%を占めています。この傾向はセネガルでも同様で、2023年の死者数の約半数がNCDsによるものとされています。そのため、NCDsへの対策は、同国における国家的な公衆衛生の重要課題のひとつとして位置づけられています。こうした課題に対応するために、分野を横断した多角的なアプローチが採られています。アーロウチMNTでは、保健省と教育省は、アーロウチMNTプロジェクト支援のもとで連携し、ジュルベル州教育事務所の教育視学官18人を対象に、NCDs予防・リスク要因研修のための講師養成研修を実施しました。



バンベイ教育事務所（IEF）での講師養成研修の様子
2025年4月22～23日



ンバケ教育事務所（IEF）での小学校校長・教員対象研修の様子
2025年4月24～25日

その後、2025年4月14日から25日にかけて、同地域の小学校校長・教員180人を対象に、6回の研修を実施しました。教員たちには、子どもたちにNCDsの主なリスク要因である「運動不足」「不健康な食生活」「喫煙」「飲酒」について分かりやすく伝えるための教材が提供されました。あわせて、代表的な4つのNCDsである「糖尿病」「高血圧症」「鎌状赤血球症」「血友病」についても学びました。今後、教員たちは研修で得た知識を学校現場での予防教育に活用していきます。アーロウチMNTプロジェクト代表者は、「教員を育成することは、子どもたち一人ひとりの未来の健康、ひいては社会全体の健康を守ることにつながる重要な投資です」と話しています。

NCDs課職員アワ・サラ・ジョップさんを偲んで

アーロウチMNTプロジェクト・チーム一同は、私たちの大切な協力者であるアワ・サラ・ジョップさんに深い敬意と心より追悼の意を表します。彼女の揺るぎない献身、たゆまぬ努力、そして尽きることのない情熱は、プロジェクトの前進に大きく貢献しました。常に温かな笑顔と親しみやすいユーモアをたたえ、専門性の高さや周囲の人への思いやりをあわせもつその姿勢は、チーム全体の協力を促し、皆が心地よく働ける職場環境づくりに大きく寄与してくださいました。その思い出は今も私たちと共にあり、NCDs対策に取り組む私たちの歩みを力強く導いています。

NCDs対策強化へ向けて 医療機材を供与

NCDsの早期発見や継続的な経過観察、そして適切な治療を行うためには、医療施設における医療機器の整備が不可欠です。アローチMNTでは、関係する受益者たちとの協議を重ねた結果、2025年5月に最終的な供与機材リストを確定しました。供与機材は多岐に渡り、例えば、血圧計59台、血糖測定器163台、24時間血圧測定器（MAPA）6台、自動ABI測定器1台、HbA1c分析装置3台、心電図1台、除細動器1台、ドップラー超音波診断装置2台のほか、NCDs対策に必要な各種機器が含まれています。これらは対象となる保健ポスト、保健センター、ジュルベル州病院ならびに、NCDs課、州保健局、州社会活動局など調整・管理機関に供与されました。なお、これらの医療機材の引き渡しに際し、関係者出席のもと、2025年7月（第2期冒）供与セレモニーの開催が予定されています。



供与された医療機材

NCDs対策を支える コミュニティの取り組み！

NCDsの進行を抑えるためには、健康増進の取組が欠かせません。地域住民の積極的な結構増進活動への参加と協力が、NCDs対策の取組の重要な鍵となります。アローチMNTプロジェクトでは、バンベイ保健区にて、「ディストリクト・シェ・ヴー/District chez vous（意訳：あなたの側の保健区）」というスクリーニングイベントを実施しました。イベントには、数百人もの住民が来場し、NCDsのスクリーニングや無料診察を受ける機会となりました。また、2025年4月9日と10日の2日間にわたり、ンバケ保健区で活動するコミュニティ保健人材31人を対象に、NCDs予防研修を実施しました。研修では、バランスの取れた食生活や定期的な身体活動の重要性に加え、血圧計や血糖測定器の使用方法和結果の読み取りについても学びました。研修後アンケートでは参加者の84%が「研修は期待に応える内容であり、自身のコミュニティで高血圧や糖尿病のスクリーニングや啓発活動を行うための知識とスキルが身についた」と回答するなど、前向きな成果が確認されています。



コミュニティ保健人材研修（ンバケ、2025年4月）

アローチMNT：第2期へ向け第1期を振り返る

2025年3月10日から14日にかけて、ティエス州にて「第1期振り返り及び第2期ワークプラン作成ワークショップ」を実施しました。医師、計画担当者、大学教員、心理カウンセラー、NCDs担当者など、分野横断的な41人のプロジェクト関係者が参加しました。ワークショップでは、第1期（2023～2025年）の取組を評価し、成果と教訓、グッドプラクティスと今後の改善点を明確にしたことで、第2期（2025～2028年）にこの計画策定に向けた基盤が整い、最終的に第2期計画の初版が取りまとめられました。



第1期振り返り及び第2期ワークプラン作成ワークショップの様子（ティエス）

今後の予定（2025年第3・第4四半期）

- JICAによる運営指導調査
- 統合合同調整委員会（Comité de Pilotage : COPIL）
- 医療機材供与セレモニー
- 本邦研修